

## 事業評価書

補助事業名	学校給食共同調理場空調機器改修工事						
補助事業者名	北中城村長						
実施場所	北中城村字熱田地内						
補助事業の成果の目標	<p>本村の学校給食共同調理場は平成5年の運用開始以降、村内の幼稚園及び小中学校への給食を安心・安全に提供できるよう衛生管理を徹底し調理を行ってきたが、施設の老朽化に伴って使用している機械類も不具合が多くなってきていた。特に空調機器の能力の低下は著しく、不具合も頻発しているものの機種の高さからメーカーが部品の生産を終了しており、修繕が不可となっていた。</p> <p>一方で、学校給食衛生管理基準では調理場内の温度は25℃以下、湿度は80%以下に保つことと定められているが、本調理場においては夏場は温度が25℃を下回ることがほとんどなく、食中毒への可能性はもちろん、熱中症など労働災害にも繋がる懸念され、安全な給食の提供が危惧されていた。</p> <p>このことから、令和2年度に空調機器改修工事(実施設計)、令和3年度に空調機器改修工事を実施。今後、学校給食衛生管理基準の達成を目指し、安心・安全な給食の提供を図る。</p> <p>(参考指標) 学校給食衛生管理基準：調理場内の温度25℃以下、湿度80%以下</p>						
補助事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計一式</li> <li>・改修工事 空調設備一式</li> </ul>						
補助事業の始期及び終期	令和2年度から令和3年度						
事業費及び交付金額		令和2年度	令和3年度				計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	1,485,000	22,434,500				23,919,500
	交付金額	1,250,000	20,275,000				21,525,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【補助事業の成果及び評価】</b> 学校給食日常点検票(衛生管理チェックリスト)にて日々確認。 加熱調理に伴う室温上昇がある為、夏場の室温については、学校給食衛生管理基準の25℃を超えることも多かったが、下記のとおり衛生環境は改善された。 湿度については、学校給食衛生管理基準の80%以下を維持している。 〔調理場①室温〕 R3.7月平均 30.5℃ R4.7月平均 29.3℃(前年比 -1.2℃) 〔検収室室温〕 R3.7月平均 30.9℃ R4.7月平均 28.1℃(前年比 -2.8℃) 以上のことにより、安心・安全な給食の提供を図ることに寄与したと評価する。</p> <p><b>【地域住民への周知の実施状況】</b> 1) 村ホームページへ掲載。 2) 村広報誌(R3年12月号)へ掲載。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今回改修を行った空調機器が良好な状態で使用できるように、空調機器の維持管理を適切に行なう。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

## 事業評価書

補助事業名	防災備蓄倉庫購入						
補助事業者名	北中城村長						
実施場所	北中城村字喜舎場地内						
補助事業の成果の目標	北中城村では航空機事故や自然災害時の避難所運営機材や備蓄食料などの備蓄を行っており、災害時に屋外での対策本部で使用する発電機、仮設照明や避難者へ配布する毛布、食料などを備蓄している。北中城村内には現在4カ所の防災備蓄倉庫があるが、昨今の新型コロナウイルス等に対応する為の間仕切りテントやベッド等についてはかさばる為、防災備蓄倉庫は通路も埋まっている状況である。今年度も引き続き災害用の備蓄（毛布、発電機、仮設照明）などの整備を予定している事から防災備蓄倉庫を整備し、災害に備える。						
補助事業の内容	物品購入 備蓄倉庫 1基						
補助事業の始期及び終期	令和3年度						
事業費及び交付金額		令和3年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	5,335,000					5,335,000
	交付金額	4,270,000					4,270,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【災害に備えた環境の改善についての成果及び評価】</p> <p>これまでは備蓄品を保管する場所が無く、災害時に使用する備蓄品整備がままならない状況であったが備蓄品整備が可能となった。整備後に災害等は発生していないが、備蓄した資材を活用した訓練を実施し、災害時における迅速な対応や備えが可能となった。</p> <p>以上のことから災害に備えた環境が改善されたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 村広報誌へ掲載</li> <li>2) 村ホームページへ掲載</li> <li>3) 購入した防災備蓄倉庫に「令和3年度沖縄防衛局調整交付金事業」と表示</li> </ol>						
事業の改善措置及び今後の対応	備蓄品を使用した訓練を定期的に行い、災害発生に備える。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						

## 事業評価書

補助事業名	資源ごみ収集車両購入						
補助事業者名	北中城村長						
実施場所	北中城村字喜舎場地内						
補助事業の成果の目標	現在、村の所有している3台のごみ収集車両の内、1台が購入後9年経過し、老朽化による不具合の頻度が高く、ごみ収集運搬業務に支障を来している状況である。 このことから、本事業により車両を購入することで、円滑なごみ収集を実施し、村内の環境衛生の維持を図る。						
補助事業の内容	資源ごみ収集車両 1台						
補助事業の始期及び終期	令和3年度						
事業費及び交付金額		令和3年度					計
	事業費	円 4,743,521	円	円	円	円	円 4,743,521
	交付金額	4,743,000					4,743,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【補助事業の成果及び評価】</b>          本事業を実施したことにより、資源ごみ回収に要する時間が短縮され、ごみ集積所に置かれる時間が短縮したことにより、住民の生活環境の改善に繋がったものと思われる。また、整備後10か月における車両稼働日は214日となっており、車両の故障などによる業務上の支障をきたすこともなく、安全かつ安定した収集・運搬体制を確保することができたと評価する。</p> <p><b>【地域住民への周知の実施状況】</b>          地域住民への周知の実施状況について以下のとおり実施した。          1) 本事業名を車体に表示          2) 村広報誌へ掲載          3) 村ホームページへ掲載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も車両の老朽化に伴う買い替えが見込まれることから、安全かつ円滑な資源ごみ収集を維持できるよう、引き続き適切な車両管理に努めていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						